

---

# 【詩集】もがりぶえ

布袋しぐれ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

【詩集】 もがりぶえ

### 【Nコード】

N6653Z

### 【作者名】

布袋しぐれ

### 【あらすじ】

布袋しぐれの詩集、第3弾。いつもご愛読ありがとうございます。徒然と心の赴くままに、書き連ねるこの詩集。どうぞお楽しみください。今回も詩集の題は、私の生まれの季語からつけさせて頂きました。

## 我が儘な愛

そう

初めてじゃない

数え切れない

恋の海

ダイブして

その切なさに溺れて

私がサーファーなら

いつになっても

波に乗ることをしらない

素人で

いいえ

分からない

覚えていないくらい

繰り返してる

お遊びめいた

この恋愛を

ねえ誰か

うまいこと並べて

おしゃれなジャズでも頂戴

おまけに思いつきりキツイ飲み物を

よく占いで出る

『浮気の恋に燃える』私

占いどおりね

人のモノが一番  
良く見える  
無いもの強請り  
やめたいけれど  
どうやらそこまで  
私  
賢くないみたい

そう  
ほしいのは  
温かなハグ  
何度目の恋かしら  
胸の高鳴り  
抑えられそうも無いの  
そう  
こんなに隙を作ってあげているのに  
こんなチャンスふらないで  
ささげる愛には飽きたから

誰か私を嫌と言うほど  
愛して頂戴

## 温かい季節

夢から

今なら醒めても

後悔しないかもって

いつかのプリンセス

まだ毒のリンゴ

吐ききれないみたいね

こんな季節に

あわてて準備なんかして

もっと早くからするんだったって

どこかのサンタのおじさん

外ではトナカイが待つてる

暇を持て余しているみたいね

赤と緑と白と

派手な色合いにその身を包んだ

街

綺麗なネオンの遠く

幸せな声が聞こえる

そんなに慌てて

流れていく星たち

煌いて光を放って

私もあんなに輝けたら良いのに

星たちに嫉妬してるみたいね

今

街中は温かな幸せに囲まれた  
温かい季節

## 戯言

気まぐれに  
呟いて  
あなたへの  
空虚な告白

いないあなたに  
届かない声は  
無意味なのに  
どうしてこんなに  
唇に乗せたい音なんだろう

まるで麻薬のようね  
媚薬のような  
温かい言葉  
ほしい愛もままならないのに  
ほしい愛も手に入らないのに  
どうして  
辛くないんだろう

心にぽっかり開いた穴は苦しくて  
痛くって  
葬り去ろうと  
私の頭

考え付いたみたいね  
ああ  
まるで人形みたいに

さあ  
求めてよ  
求めるままに  
甘美に  
優雅に  
時に大胆でふしだらに  
舞って差し上げましょ

嘘でいい  
憎いあなたでもいい  
私に  
愛していると  
囁いて



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6653z/>

---

【詩集】もがりぶえ

2011年12月24日09時48分発行